

# アイキャンだより

2004年4月  
第34号



## 2003年事業報告

～チャリティコンサート報告～ P2-3  
今年の国際理解教育 P4-5  
サンイシロレポート P6-7

## 事務局からのお知らせ

2003年度事業報告&総会報告 P8-9  
新規会員、会員継続者、寄付者のご紹介 P10  
会員になって ICAN を支えよう！ P11  
P12



## パヤタスで活躍する女性たち。

女性たちは現在コミュニティーヘルスワーカーとしてのトレーニングを受け、医療プログラムも同時に手伝っています。日本でもパヤタスの人たちの暮らしや活動に対し、チャリティコンサートや国際理解教育などを実施しながら、多くの人たちに現状を伝え、実際に自分たちが出来ることを考えています。

**ICAN (アイキャン) 特定非営利活動法人アジア日本相互交流センター**

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-20-11 NPO プラザなごや2F

TEL&FAX 052)582 2244 E-mail: info@ican.or.jp

ホームページ: <http://www.ican.or.jp/>

# チャリティーコンサート報告

2003 年 12 月に、南山大学サークル WISH(日本から出来る国際交流を考える会)のメンバー主催で、パヤタス 医療プログラムへの支援を目的としたチャリティーコンサートが行われました。当日は、現地スタッフ 伊藤洋子の講演、尾高遵子さん(ピアノ)・尾高綾子さん(メゾ・ソプラノ)・吉井雅子さん(ヴァイオリン)によるクラシックの演奏があり、約 400 人の方にご来場いただきました。

このコンサートを実施までの道のりと当日の様子、またコンサートの企画をした WISH のリーダーである村田和加奈さんにコンサートを終えた感想をお聞きしました。

## コンサート実施までの道のり

市川恵

チャリティーコンサートを実施するため、昨年 5 月末、神言神学院のフィリップ神父様を訪ねました。フィリップ神父様は南山大学のロゴスセンターで【日本から出来る国際交流を考える会】というサークルを企画していらっしゃいました。以前フィリップ神父様と ICAN 代表の龍田は、スモークーマウンテンの子ども達が日本に来日した際のイベントで一緒に、それがきっかけで今回の企画が実現しました。

学生サークルは W・I・S・H (We Invest Small Hopes) というグループで、大学内で週 1 回毎週木曜にミーティングを開いていました。ICAN スタッフとして私が月に一度ミーティングに参加し、12 月のコンサートに向けて全員でねらいや目的を共有しながら、企画を進めていきました。フィリピンのことに関心のある学生さんは何人かいましたが、パヤタスのことを知らない学生さんの方が多く、はじめはパヤタスに関するレクチャーを行ったり、パヤタスについて知ってもらうため写真やビデオを提供して、ミーティングの時に勉強してもらったりしました。また、コンサートの構成を考えるなかで、自分たちでもパヤタスのことを伝えていきたいという意見が出されました。11 月初旬には、メンバーの村田さん見松さんの 2 人がパヤタスを訪れ、実際に見たことをどう伝えていこうかと模索しながら、プログラムを作っていました。

また、コンサートの構成を考えることだけでなく、メディア向けの広報や、チケットやちらしの準備、会場の手配や設営準備など、実施に向けた準備も山のようにありました。当日までの役割を、いくつかのチームに分け、分担を決めながら進めていきました。

今回、長い時間をかけて一緒にコンサートをつくってくださった WISH のみなさまには、本当にお世話になりました。神言神学院のフィリップ神父様には大変多くのサポートをいただきました。サークルの呼びかけ人でもあり、学生のみなさんが動きやすい環境を作ってくださいました。

また、当日ご来場いただいた多くのみなさまも本当にありがとうございました。ひとつの企画を作り上げていくということは、本当に大変な作業ですが、今回 WISH のみなさんやフィリップ神父に協力していただいたことで、全員でコンサートを作り上げたという実感を持つことができました。

今回ご協力いただきました多くの収益金は、パヤタスのより多くの住民がプログラムを受けられることができるように、有効に使わせていただきます。

## 当日のプログラム

関係者挨拶

オープニング

協力者\*辻 琢磨さん

(名古屋大学大学院国際開発研究科在学)

WISH より

代表：村田和加奈さん、見松利恵さん (WISH)

来賓 滝リンドさん(中部フィリピン友好協会代表)

クラシック演奏

演奏者\*尾高遵子さん(ピアノ)

尾高綾子さん(メゾ・ソプラノ)

吉井雅子さん(ヴァイオリン)

伊藤洋子講演会

コーディネーター：龍田成人 (ICAN)

パネリスト：伊藤洋子 (ICAN)

興相康一郎さん (JICA 中部)

磯貝白日さん (JICA 中部)

クラシック演奏

演奏者\*

エンディング\*

別館では、他団体 (FMC、聖霊会 JPIC、SVDJPIC、JICA 中部) のみなさまに、ブース出展やフィリピン料理のコーナー、喫茶コーナーの出展でご協力いただきました。

## WISHメンバー

希代翔さん、村田和加奈さん、山田愛さん、徳平陽子さん、村田猛さん、塚本紗苗さん、見松利恵さん、近藤三樹さん、渡辺沙織さん、藤原宏樹さん、吉田昌男さん、ダニエル・レイさん、フィリップ神父  
他、当日も多くの方にご協力いただきました。

## チャリティコンサート会計報告

(収入)

チケット売上 562,000 円

当日までの寄付金 119,671 円

収入合計 681,671 円

(支出)

その他支出 272,925 円

収益金 408,746 円

## チャリティコンサートを終えて

WISH 村田和加奈

フィリピンというと「バナナ」というイメージがあるくらいで、日本人にとってあまり馴染みのある国ではないかもしれませんが。ですが、日本と同じアジアにフィリピンという国があり、そこにあるゴミの集積場ではわずかな収入を得るためにゴミ拾いをして暮らしているという現実があることをみんなに知ってほしいとの思いから私達はチャリティーコンサートを企画しました。一般的にチャリティーというと世界の貧しい人達のために寄付をするというイメージがあります。しかし今回のコンサートを通して、チャリティーを「貧しさ」だけに注目した単なる一方向的なお金の流れにするのではなく、支援を受ける人々の生活を知ることによって彼らを特別な存在ではなくもっと身近に感じられるきっかけを提供できたら...と思いました。

「何か人の役に立つことをしたい!」という思いで私はサークル活動を行っているのですが、その気持ちを形にすることの難しさを今回のコンサート企画の中で痛感しました。ICAN からお話をうかがって私達のサークル WISH 主催でコンサートを開催することになったのですが、初めてのチャリティーコンサートの企画ということでいつ頃までに何をどうやって企画していけばよいのかよくわからない、という状態でした。そんな中で ICAN のスタッフの方たちのアドバイスを受け、わからないなりに何とか企画を進めることができました。また、大学内のサークルということで普段はあまり外部と関わる機会がないので、大学の外の方達と一緒に活動できたことをとてもうれしく思います。

私は大学入学後フィリピンでボランティア活動をしたことをきっかけに、国際協力に関心を持って様々な活動を行ってきました。マニラ郊外のパヤタスでは、現地で活動している NGO 団体の存在が住民にとっていかに大きいかを目の当たりにしました。地元の住民一人一人の生活をよりよくしようと努力している彼らの活動は、目に見えた成果をあげるには膨大な時間と労力がかかるように思われます。しかし、その地道な活動が地域全体の生活向上には欠かせません。そしてフィリピン政府や国民がそれらを自分たちの国の問題として受け止め、草の根運動組織と連携をとって問題解決に取り組んでいけば、フィリピンが今よりももっと良くなると考えます。

# 今年の国際理解教育

昨年に引き続き、今年も ICAN は国際理解教育を実施します。  
今年、特に、 つながり・深まりの場や、 気づき・発見ができる場をつくることに重点を置きます。また、11月末に予定されている ICAN 主催の国際理解教育講座の実施に向けて、月1回行っている国際理解教育のミーティングの中で講座の企画も行っていきます。  
主に、今年、下は下の3つの企画を予定しています。

## ～ 毎月、体験ワークショップを実施していきます！ ～



昨年の学校でのワークショップ実践風景

つながり・深まりの場では、国際理解教育ってどんな学習？ ICAN の国際理解教育ってどんなことをしているの？という疑問をお持ちの方に、これまで学校やその他の場で行ってきた授業やワークショップを実際に行っていきます。参加型学習をはじめとし、具体的に伝えたいことを伝えるための方法、授業の進め方などを、国際理解教育を実施している人やこれから携わって行きたい人たちと共に考えて行きたいと思います。

## ～ フィリピンの現場を訪問するツアーを実施します！ ～

気づき・発見の場では、夏に行うフィリピン海外研修を通して、学校や地域で国際理解教育、開発教育を実践している人たちが、実際に NGO の活動現場を見ることにより、国際問題を改めて考え、気づきを深めて行く場にしていきたいと考えています。また海外研修に参加された方たちに、帰国後、学校でどう研修を生かしたかという事例の紹介などもしていただきたいと思っています。



パヤタスごみ処分場で働く人たち

## ～ 国際理解講座を開催します！ ～

11月末に、自主講座を行う予定です。この講座では、スタディツアーなどでフィリピンを訪れた方や、日ごろ ICAN の活動に携わっている方たちと一緒に企画を作りあげます。現在は月に一度行われている国際理解教育ミーティングで話し合いをしています。講座の中では、ワークショップ体験会に参加された方や、フィリピン海外研修に参加された方たちの実践の報告も行っていきます。

---

また、上の企画とは別に、これまで行ってきた国際理解教育事業も実施していきます。具体的には、学校訪問、訪問者受入、セミナー・イベントへの講師派遣、教材の貸出、カードキャンペーン、物資寄付などがあります。

今年は学校訪問などにも、国際理解教育のミーティングに参加されている人たちに一緒に実施します。皆さんも、是非一緒に授業をしましょう！

---

# 2004 年国際理解教育事業関連スケジュール

時期	海外研修	ワークショップ実施	その他
5 月		5/19 第 1 回体験ワークショップ	5/23 フィリピンフェスティバル
6 月	第 1 回事前研修会 (6/12)	第 2 回体験ワークショップ	6/5.6 名古屋大学祭 6/20 地球市民フェスタ 6/19-20 国際貢献フェスタ in みえ 2004
7 月	第 2 回事前研修会 (7/3)	第 3 回体験ワークショップ	
8 月	8/18~24 <b>フィリピン海外研修</b> 8/26~30 <b>スタディーツアー</b>	第 4 回体験ワークショップ	随時 〔事務所訪問受け入れ〕
9 月	各学校での授業の実施を フォローアップ!	第 5 回体験ワークショップ	〔各学校での授業の実施〕 (9~12 月が重点期間)
10 月		第 6 回体験ワークショップ	10/29~31 ワールドコラボフェスタ
11 月	<b>ICAN 国際理解教育自主講座</b> 海外研修参加者による学校での実践紹介 フィリピンを理解するワークショップの実践		11/13 日本福祉大学祭

## フィリピン 海外研修プログラム参加者募集！！

ICAN では、学校や地域社会で国際理解教育に取り組んでいます。特に活動地である、フィリピン社会で抱える多くの課題～経済格差・貧困・保健医療～の現状や構造を学ぶ学習をはじめとし、ひとりひとりが、身近な活動として自分にできることを考えること・行動につなげていくことを目指しています。

今回、国際理解教育を実施する担い手である方に対し、フィリピンの貧困問題の現状や、実際に現地で行われている国際協力活動の見学を通して、その後の授業の実施に生かすことを目的として、研修を実施します。

### 【海外研修】

日程:2004 年 8 月 18 日(水)～8 月 24 日(火)

料金:14 万円 対象:国際理解教育・開発教育に関心のある方

申込み締め切り:5 月 29 日(金)まで

\*お問い合わせ・お申し込みは ICAN 事務局までお願い致します。

TEL & FAX : 052-582-2244 (担当:市川)

# サンイシロレポート

## ～スタディツアー参加者からのレポート～

2004年3月初旬に、ICAN スタディツアーでサンイシロを訪問しました。今回は5名の方の参加がありました。年に一度のサンイシロツアーですが、今回はツアーに参加されたお二人に、村の様子や訪れて感じたことを報告していただきました。

### <スタディーツアーに参加して>

齊藤 順子

私は2月から約一ヶ月間、NGOセンターの「NGOスタッフになりたい人のためのプログラム」の一環でフィリピンに滞在してICANのパヤタスでの活動に参加させていただきました。ちょうど研修が終わる時にICANのサンイシロに滞在するスタディツアーがあると知って、フィリピンという国のまた違った面が体験できるチャンスだと思い、そのままツアーに参加させていただきました。



サンイシロの子どもたち

サンイシロのことは、ICANが活動している地域として知ってはいましたが、写真等も何度か見てどんな所か想像はついていましたが、実際滞在中みて本当に素敵な所だと改めて思いました。見渡す限りの山やきれいな空気はもちろんですが、何よりサンイシロの住民の方の人柄の良さが一番の魅力です。皆さん本当に温かく私たちを受け入れてくれ、毎日本当に楽しかったです。サンイシロは電気もガスも通っていないし食料も豊富ではないので、物質的には豊かとはいえないと思いますが、精神的にはとても豊かな生活を送っていると感じました。たくさんの物や情報は生活を便利にはしてくれるけど、それがかならずしも精神的な豊かさをもたらすものではないと実感しました。しかし、問題が無いわけではありません。滞在中 ICANの奨学生が通う高校を見学させてもらったのですが、山道を3、40分かけて歩いたところがあり、雨季になると道がぬかるんだり、川の水が増水して行けなくなってしまうことも多いと聞きました。また、同時に2つのクラスを1人の先生が受け持っていてあまり良い環境とは思えません。しかし、サンイシロから通える学校はここしかなく、また現金収入のある家庭は少ないので、高校に通うこともできない子がたくさんいるそうです。



サンイシロで訪れた高校の生徒さん

奨学生の子に将来の夢を聞いたら先生や看護師という子が多く、もしその夢がかなったら、彼女たちだけではなく村の人にとっても大きな一歩になるのではないのでしょうか。しかし今の現状では難しいように思います。なので、これからどんな支援がサンイシロに必要なのかということを、このツアーをきっかけに私なりに考えていきたいと思いました。

## < サンイシロスタディツアーに参加して >

伊佐治 歩



村の人が豚をさばいてご馳走をしてくれました。

私は初め、このスタディツアーに参加するかどうかすごく迷いました。

それはこのツアーの前ヶ月、フィリピンに滞在する事が決まっていたので、未知の国にそれ以上長くいる事はとても不安でしたが、スタッフの人の言葉に後押しされて参加を決意しました。でも、それが私の中でフィリピンの印象を大きく変える結果となりました。サンイシロの自然の美しさも去ることながら、私たちは言葉を超えて、心を通わす事ができたからです。

サンイシロの人々は、電気もガスも無い所で、とても遅く生きていました。

田畑を耕し、山に入って木を切り、食べ物を採ってくる。薪を割り、かまどで料理をし、夜はランプを灯す。意外だったのは、多くの場面で男性が料理をする姿を見かけた事でした。

そこで、私が印象的だったのは、彼らがとてもシャイで純粋な心を持っている事です。子どもたちが無邪気で可愛かったのは言うまでもなく、20歳前後の人たちでさえそうでした。皆、私たちに対しとても親切で優しく頼もしくそして陽気で、昼夜問わず一緒に歌い、踊りました。村の子どもや若者は元気で、日が落ちて顔が分からなくなっても遊んでいるからスゴイ！

サンイシロの人々は一見すると、のんびり、楽しく暮らしているようにも見えますが、

そこにはちゃんと秩序があり、「大人は大人として存在し、子どもは大人を尊敬する」姿を度々目にして、私自身を含めてそうでない日本を恥ずかしく思いました。サンイシロでは学校に行けない事、十分な教育を受けられない事は大きな問題の一つですが、彼らは日本人が失ってしまった、忘れてしまったとても大切なものをしっかり持っている素晴らしい人たちでした。私は、いつか彼らの中から教師が誕生し、村の子たちを教えてくれる事を願っています。



小さな子も大きな子も、みんな元気いっぱいです。

そして、サンイシロの美しさや心の豊かさを失わせず、地域開発をしていくことの難しさを感じた5日間でもありました。

# 事務局からのお知らせ

## 新スタッフ紹介

2月末から、ICAN マニラ事務所のスタッフが増えました。ノエル・フェリシアーノさんです。ノエルさんはパヤタスで、主にプロジェクトコーディネーターとして働いています。これまで他のNGOでも働いてこられた経験があり、とても頼もしいスタッフです。

3月末にはノエルさんの発案で、パヤタスでミーティングが行われました。地域の住民と一緒に、彼らの抱える問題や課題を共有していくためのものでした。ミーティングは、参加型で行われ、住民の人たちも理解しやすいように、図や絵などを用いて進められました。内容は、住民の方々自身がパヤタスの歴史的な経緯、大きな出来事について振り返り、自分たちの抱える問題、将来の目標を話あいました。そして、住民の方々を利用できる社会サービスや自立支援のプログラムを一緒に考え、行動プランを立案しました。

ノエルさんは、今後更に多くの住民をサポートできるようなプログラムを行っていくための土台づくりをしています。ノエルさんの今後の活躍に期待しています。



住民のミーティングを司会するノエルさん

## インターン・ボランティアのみなさん、お疲れ様でした！

2003年度では、日本・マニラのそれぞれの事務局で合計10名のインターン・長期ボランティアを受け入れました。2月には、名古屋NGOセンターが主催する「次世代NGOスタッフ育成事業」のフィールドワーク研修として、5名の研修生がマニラ事務局で研修活動を行いました。

マニラでは棚橋大輔さん(2002/11~2003/11)、園原ゆりえさん(2003/5~2003/11)、佐藤未希さん(2003/5~2004/3)、10月から安井佐織さん(2003/10~2004/3)がパヤタス事業を手伝ってくださっていました。園原さんはサバイタヨを担当、棚橋さん、佐藤さんは職業訓練・フェアトレードを担当、安井さんは医療プログラムを担当してくださいました。みなさん、現地でのプログラム実施のサポートや日本への報告などで大変活躍してくださいました。

また、日本事務局では川岡美穂さん(2003/4~)、石田雅子さん、大西顕悟さん、斎藤順子さん(2003/10~2004/3)の4名が事務局作業を手伝ってくださっていました。日常業務以外にもそれぞれ自分たちの取り組むテーマにそって、フェアトレード、国際理解教育の勉強会の企画と実施、ホームページ作成などを行ってきました。



フィリピンフィールドワーク研修の報告会にて

3月には、日本でインターンをしていた3名に加え、伊佐次歩さん、馬淵ひとみさんが1ヶ月間マニラ事務局で研修を行いました。パヤタスのプログラムの中で、自分にできることを探しながら、海外での支援活動について沢山のことを学びました。

インターン、研修生の方たちがICANでの経験を活かして今後も活躍されることをお祈りします。



## <Summer Greeting Card を送ろう！>

ミンダナオ、ジェネラルサントスの小学校の子ども達をカードで励ますカードキャンペーンを行います。今回は、これまで文房具や給食の提供で交流のある Bawing 小学校、Sarif Mucsin 小学校、P.Kindat 小学校、Balunto 小学校、Upper Tumbler 小学校、Dadiangas East 小学校の子ども達を励まします。

**彼らへの励ましのカード作り、カード集めにご協力下さい！**

カードの形式

- (宛先) Dear Friend にして下さい。
- (差出人) 名前だけ英語で記述し、住所は書かないでください。
- (内容) 英語で書いてください。子どもたちの英語力が高度ではないため、文章は少なめで簡単な内容にとどめ、絵やシールなどが多いほうが喜ばれます。
- (形式) 既成の絵はがき、二つ折りカードのサイズでお願いします。  
1通ごと封筒に入れてください。
- (期限) ICAN 事務局に、7月15日必着で送って下さい。
- (宛先) 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-20-11NPO プラザ 2F ICAN
- (その他) 一通につき 40 円(切手可)ほどのカンパをお願い致します。

### <Happy New Year Cardキャンペーンご報告>

会報33号のご報告以降も、下記の皆様にご協力をいただきました。

#### 【ご協力いただいた皆様】

南野さん、田頭さん、能見さん、対馬さん、中沢さん、匿名の方、  
太平洋さん、培良中学校の皆さん、井坂さん、古賀さん、  
宇都宮さん、関さん、関東農政局大里農地防災事業所の皆さん、  
鎌田さん、池田さん、加山さん、モンシェリハウスの皆さん、  
水野さん、竹宮さん、木谷さん、小竹さん、宮上中学校の皆さん、  
白倉さん、上垣さん、信田さん、立花さん、大嶋さん、  
豊明中央小学校の皆さん、宛昕さん、下田さん、安藤さん、  
康さん、杉本さん、日比野さん

集まったカンパの合計は

71,606 円 でした。

ご協力ありがとうございました！

## みなさんお越し下さい！ 事業別ミーティング！

今年の3月から、事業別ミーティングを新たにはじまりました。

現在、パヤタスミーティング、国際理解教育ミーティング、ミンダナオミーティングが行われていますが、いずれのミーティングもボランティアさんや会員の方たちが、ICANの事業に対してより主体的に活動したり、意見を交換する場を作ることが目的です。また、マニラやミンダナオの現場とのやり取りをもう少し密にし、日本でも随時現状の把握したり、課題の整理したりしていきたいと考えています。そして将来は日本からもプログラムをサポートできる提案をしていきたいと思えます。

それぞれ、まだミーティングは始まったばかりですが、少しでも国際理解教育やパヤタスやミンダナオで行われている支援活動に関心のある人は、是非一度各事業別ミーティングにお越しください。月に一度のペースで開催していますので、また詳細について知りたい方は事務局までご連絡ください。

ミーティングに参加することで、それぞれの事業について詳しく知る事ができました。同時にもっとプログラムを知りたいという思いが湧いてきました。

普段の作業も面白いですが、ミーティングに参加することで、よりICANの活動に参加しているような実感が持てました。

ミーティングに参加している山田さんからのコメントです

# 2003 年度 事業報告 & 総会報告

2004年2月29日(日)14時～17時に、NPO プラザなごや4F 会議室にて、2004年の年次総会を開催しました。当日は、会場参加者8名、書面票決116名、合計124名の方にご出席いただきました。定足数(会員総数234名の過半数)の参加により、総会は成立、議案説明・審議の結果、2003年事業報告・決算案、2004年事業計画・予算案、役員人事等全議案が可決されました。

2003 年決算		2004 年予算	
経常収入	13,995,138	経常収入	19,705,000
〔 会費収入 3,261,125 〕		〔 会費収入 3,840,000 〕	
〔 寄付金収入 2,403,037 〕		〔 寄付金収入 2,750,000 〕	
〔 事業収入 4,777,237 〕		〔 事業収入 5,100,000 〕	
〔 委託収入 3,436,247 〕		〔 委託収入 8,005,000 〕	
〔 その他 117,492 〕		〔 その他 10,000 〕	
他の資金収入	1,925,599	他の資金収入	0
前期繰越金	8,797,765	前期繰越金	12,093,305
経常支出	12,538,821	経常支出	21,773,000
〔 事業費 5,749,994 〕		〔 事業費 13,270,000 〕	
〔 管理費 6,579,651 〕		〔 管理費 6,503,000 〕	
〔 その他 209,176 〕		〔 予備費 2,000,000 〕	
他の資金支出	86,376	他の資金支出	0
次期繰越金	12,093,305	次期繰越金	176,000
総収入	24,718,502	総収入	31,798,305
総支出	24,718,502	総支出	21,949,000

今年の役員は以下の通りです。

理事 --- 龍田成人、伊藤洋子、松岡亜湖、赤星千晶、  
早川潔、奥蘭由紀子、里村京子、花房範子

監事 --- 伊藤みどり、林俊彰

宜しくお願い致します

## 2004 年度の主な事業

### 海外事業

ミンダナオにおける支援活動 ---- 里親(通学支援)事業、給食事業(3校で実施)

バヤタスごみ処分場周辺での支援活動

--医療支援事業(無料診療・栄養改善プログラム、家庭訪問の実施をする。)

--職業訓練事業、フェアトレード事業(経済的自立を目指し、職業訓練、作業所運営を行う。)

山村サンイシロでの支援活動 ---- 山村教育支援事業

### 国内事業

相互理解を促進する活動 ---- 国際理解教育事業、スタディツアー事業

事務局 日本事務局 ---- 事務作業、経理作業、報告や会計の作成等、問い合わせ対応、  
国際理解教育実施、フェアトレード販売・在庫管理、  
スタディツアー実施、インターン・研修生等の受け入れ

マニラ事務局 ---- パヤタスやサンイシロでのプロジェクト全般の実施・評価とモニタリング、活動に係る事務作業等、スタディツアー受入、フェアトレード販売・在庫管理、インターン・研修生等の受入

# 新規会員、会員継続者、寄付者のご紹介

(2003年12月～2004年3月)(敬称略)

## 新規会員

### 里親会員 給食会員 パヤタス会員 一般会員

高橋晶恵、北元正美、山口優姫、関理江子、藤生喜代美、島田薫  
中西雄吾、  
河野亮、小林あけみ、玄七穂、新田目夏実、大津紀子  
長町諭、高橋マリアクララ、

## 継続会員

### 里親会員

竹本宏美、三村和子、安島秀樹、長谷川美穂子、  
犬飼真理、大崎玄、天藤敬子、太刀原祐二、  
重富恵子、菅野節、横田昌三、足立まりな、  
河崎賢一、藤森美里、浅見昌一、島村恵三子、  
仲田誠司、小山明彦、江崎順子、細野富美枝、  
多昌広治、昆正美、水口正人、澤田裕美子、  
林和慶(かずのぶ)、山田観千、池田真由美、  
菊野隆明、岩井清治、砂本紅年、藤村昭子、  
木村三男、宮地厚、小野惟人、坂本世津夫、  
吉田郁子、服部英子、松本茂美、小倉笑美子、  
寺田達志、沼崎清子、清水満夫、片岡惇子、  
森広和、佐藤雅美、工藤道子、小林香苗、  
田島利晃、竹田孝行、山本宗子、林ますみ、  
内海眞子、神部陽子、松島敏江、太田美佐子、  
土森正昭、峯由美子、安藤正、山田知子、  
大塚美香、西崎裕雅、野口晶子、竹ヶ原義男、  
脇田里美、島田薫、外村律子、高沢美和子、  
山根邦彦、大西穰、桑原暁子、井上美佐子、  
浅井一郎、関 徹、市川洋子、長屋ハルミ、  
朝倉脩二、沼本泰司、瀬戸裕子、松澤直輝、  
飯塚光子、三村昇、田中郁夫、伊藤みどり、  
松下文彦、田中明美、亀岳中学、速水美智子、  
朝倉陽、山田新吾、林國博、小島可奈子、  
伊藤伸明、平野智美、青木啓明、吉井浩一郎、  
武田康彦(以上96名)

### 給食会員

山田正子、西田秀雄、仲田誠司、島村恵三子、  
有山淳子、木村三男、大野禮子、細野富美枝、  
片岡惇子、西崎淳子、網代淳一、黒瀬公美、  
伊藤伸明、武田康彦(以上14名)

### 山村会員

島村恵三子、木村三男、片岡淳子、和田由紀子、  
竹内久人、川角昌弥、龍田シズ、神谷美雪  
(以上8名)

### パヤタス会員

山田未代、清水俊生、川西通子、島村恵三子  
戸塚健、木村三男、片岡惇子、池田真由美、  
黒瀬公美、奥園雅史、桑原茂、島村恵三子、  
内田隆、木村三男、田中正之、小寺寿臣、  
伊藤伸明、桑原茂、梅津美佳(以上19名)

### 一般会員

佐保克彦、畔柳東一、竹内弥生、大崎玄、  
西田秀雄、加賀佳子、木村緑、島村恵三子、  
長井昭三、佐佐寅雄、中島浩子、伊藤美里佳、  
大野禮子、福富幸恵、田辺登、鈴木のぞみ、  
寺田達志、野村博史、田中利昌、西條竹彦、  
田中洋充、大谷正秀、古畑生子、保坂ひろ子、  
山田知子、竹内久人、長谷川末喜  
正尾美恵子、細野富美枝(以上29名)

### 維持会員

菅野真実、服部英子、昆正美、杉戸肇、  
峯由美子、田中正之、松岡司、龍田成人、  
伊藤伸明、ACA-AQUA(以上10名)

### ご寄付

梅村祐二、小山哲司、玉川恵理、木村田主子、  
山下、蔡岳強、依田達幸、田口美枝子、  
熊本英史、太田重信、塩沢寿枝、岡田喜美江、  
斎藤正彦、梶谷康子、古田裕宣、青山フキヨ、  
静岡大学、松原貴之、尾崎光弘、沢村喜代美、  
加藤孝志、加藤康弘、小野弘恵、深谷恵美子、  
渡辺章、山田茂雄・五月、澤井美智子、  
山田敏彦、倉茂和幸、風間公一、加藤けい子、  
嶺康弘、渡辺順子、中山賀之、神田秀夫  
三つ口朱野、小林ひとみ  
日本福祉大学国際交流センター、  
足利東ロータリークラブ、  
八戸VOCトレジャラー

## ご協力者

### 文房具寄付 集まった寄付 44,358円

吉田方小学校の皆さん、花之木小学校6年生の皆さん、  
岩津小学校6年生の皆さん、啓蒙小学校4年生の皆さん、  
北城小学校5年生の皆さん、瑞穂第四小学校の皆さん、  
石山中学校の皆さん、樋口さん、中村さん

### 未使用テレカ 集まった寄付11,000円相当

伊礼さん、広田さん、服部さん、桑原さん

### 書き損じ葉書 集まった寄付26,581円相当

中西さん、神谷さん、松岡さん、澤井さん、亀山高校のみなさん、  
古畑さん、田村さん、中津北高校のみなさん、廣川さん、  
桑原さん、京都市立旭丘中学のみなさん

### 商品券 集まった寄付 3,000円相当

桑原さん

### その他

WISHチャリティーコンサート、千年小学校バザー、  
鈴鹿国際交流協会神の子上映会に出展させて頂きました。

## 会員継続のお願い

平素より、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

2004年もICANは、パヤタス、サンイシロ、ミンダナオ  
での活動を実施して参ります。各事業ともより充実したプロ  
グラムを目指して、いっそう意欲的に取り組んでいく所存で  
す。

皆様には、2004年度も会員として引き続きご支援・ご協力を  
をお願い致します。

裏表紙にお振りこみ先等記載してありますので、お手続き  
をお取りいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、お願いが行き違いました場合にはご容赦下さい。

ICAN事務局

**ありがとうございます！今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。**

## << 会員になって ICAN の活動を支えよう! >>

(ICAN の活動は会費と寄付金で支えられています。事業会費・事業寄付金は 20% が運営費、80% が事業費となります。正会費、運営寄付金は全て運営費となります。)

### (1) 貧困家庭のための里親制度 (年会費 1 万 8 千円)

一定収入に満たない家庭の子どもに学費・学用品費・医療費等を支援します。1 対 1 の支援です。

### (2) ミンダナオの小学校での給食提供 (年会費 6 千円)

少数民族の小学校で、先生や保護者の方と一緒に、栄養不良児に給食を提供しています。

### (3) パヤタス支援 (年会費 6 千円)

ごみ拾いで生計を立てている住民が多くすむパヤタスで、職業訓練や医療支援を行っています。

### (4) 山村教育支援 (年会費 6 千円)

山村サンイシロで、先住民のために、未就学児童やハイスクール生等の教育支援を行っています。

### (5) ICAN の運営等の活動全般へのご支援 (一般会費 3 千円, 維持会費 1 万円)

活動全般を支えて頂く正会員です。翻訳や事務局を手伝って頂くボランティアも募集しています。

#### 会費と寄付金の振込先

- ・郵便振替) NPO 法人 ICAN, 00850-6-78233
- ・UFJ 銀行) 名古屋駅前支店 普通 2361021 NPO 法人 ICAN (エヌピーオーハウジンアイキャン)
- ・E-BANK) 支店番号 210 口座番号 7001258 特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター
- ・JAPANNET BANK) 店番号 001 口座番号 4005809 特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター

## 4 月以降の予定

4 月以降、以下のイベントに参加予定です。今後もまだ企画が増えると思いますので、随時お知らせをします。企画への参加や、ブース出展のボランティアにご興味のある方は、事務局までご連絡ください。イベントボランティア募集中です。

#### < イベント参加・自主企画など >

- |          |                     |              |
|----------|---------------------|--------------|
| 4/29     | 連合メーデーフェスティバル       | ブース出展        |
| 5/23     | フィリピンフェスティバル        |              |
| 6/5.6    | 名古屋大学祭              | アートブース出展     |
| 6/19~20  | 国際貢献フェスタ in みえ 2004 |              |
| 6/20     | 地球市民フェスタ 2004       | 車座トーク他       |
| 8/18~24  | フィリピン海外研修実施         |              |
| 8 月下旬    | スタディーツアー実施          |              |
| 10/29-31 | ワールドコロボフェスタ         | 参加           |
| 10 月~    | 各学園祭、大学祭            | フェアトレードブース出展 |
| 11 月末    | 国際理解教育講座            |              |

### 事務局ボランティアさん募集!!

事務局では、日本・フィリピンの会計書類のパソコン入力や領収書整理、データ整理や報告書の作成、会報の編集・印刷・発送などの事務作業全般をお手伝いいただける方を募集しております。事務局にお越しになる際は、一度事務局までご連絡ください。宜しくお願致します。

お問い合わせは、ICAN 事務局まで (受付時間: 火~土 13 時 - 17 時)

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-20-11 NPO プラザなごや 2F  
TEL&FAX (052) 582 2244 E-mail : info@ican.or.jp ホームページ: <http://www.ican.or.jp/>